

(別紙)

障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名 神奈川県

【基本情報】	
フリガナ	テラスア シカイヤ
法人名	Terasu. (株)
フリガナ	グループ ホームサンライズ セイザン
事業所名	グループホームサンライズ青山
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
共同生活援助	
職員数（常勤換算数） 【「全職員の月間勤務時間数」／「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
4.0 人	
ICT機器等導入完了日	令和 7 年 2 月 3 日

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
職員間の情報伝達・情報共有	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
シフト表作成	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等に対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等に対応）

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備 考
①パソコン	①作業の迅速化	富士通FMVA450JW	6台	
③タブレット	①作業の迅速化	アップル10.2インチiPad Wi-Fi 64GBシルバー MK2L3JA	6台	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター

なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他

なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

（３）モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	5人	90件	1,080件	10分	180時間	36時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	18人	90件	1,080件	10分	180時間	10時間	
③請求業務	3人	19件	228件	10分	38時間	13時間	
⑤シフト表作成	3人	15件	180件	1,800分	5,400時間	1,800時間	
⑦その他	8人	50件	600件	300分	3,000時間	375時間	
		264件	3,168件	2,130分	8,798時間	2,234時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※１及び※２については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※１>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

実際の支援記録をさかのぼり、大体の平均値を出した。

<※２>C. １件当たりの平均処理時間の算出方法

パソコンが１台のみであったため、業務用のスマホ等を使用して交代で記録の打ち込みをしていた。１人の支援記録を打ち込む平均時間数１件１０分とした。

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D／業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	5人	100件	1,200件	5分	100時間	20時間	
②職員間の情報伝達・情報共有	18人	90件	1,080件	10分	180時間	10時間	
③請求業務	6人	19件	228件	5分	19時間	3時間	
⑤シフト表作成	6人	15件	180件	1,000分	3,000時間	500時間	
⑦その他	12人	50件	600件	100分	1,000時間	83時間	
		274件	3,288件	1,120分	4,299時間	617時間	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。

なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

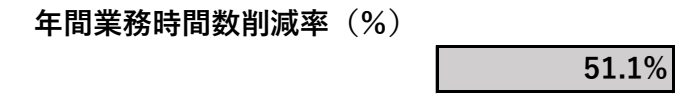
以下の※１及び※２については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※１>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

支援員（18名）が、日々の記録をスマホで毎日作成している。（所要時間：1件につき平均5～10分程度）

<※２>C. １件当たりの平均処理時間の算出方法

支援員（18名）が、日々の記録をスマホで毎日作成している。（所要時間：1件につき平均5～10分程度）



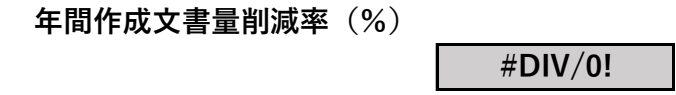
※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
		0 ページ
		0 ページ
		0 ページ
	0 ページ	0 ページ



（４）ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

今までパソコンの台数が限られていた事、アイパッドを使用していなかったことで事務業務の効率がもともと悪く、台数が増えたことで効率がよくなったことはあきらかであった。今までは事務作業を行う職員が限られていたため、導入後の事務作業の進め方や引継ぎに苦労したが、教えていくなかで工夫できる点や改善点については事業所内で確認してマニュアルにいかしていく予定で動いている。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。
また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果
☐ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☒ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
☐ 4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☒ 5 その他の効果があった。
☐ 6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

パソコン台数が増えたことで、事務時間の効率化が改善され、事務を手分けして行う事ができるようになった。

ソフトウェア導入による効果
☒ 1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
☐ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
☐ 6 その他の効果があった。
☐ 7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

上記にも記載したが、パソコン台数が増えた事で事務業務の効率がとてもあがった。複数職員で同時に手分けをして事務作業が行えるようになった。
アイパッドも導入し、外出先や通院先での記録作成もできるようになった。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

今までは交代で事務に入る、一人に対する事務の負担が多くあったが、改善されてきている。パソコンやタブレットの台数を増やすこと、または導入したことで、利用者支援、余暇などの時間の確保と、職員配置人数の確保が以前よりできるようになったため、余暇の幅が広がる、外出先の選択肢が広がるなど利用者支援、サービスにあてていくことができている。（まだ導入したばかりであるため、余暇を行う日のスケジュールに変化あり）

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

（５）ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※１）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※２）	

（※１）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※２）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。